



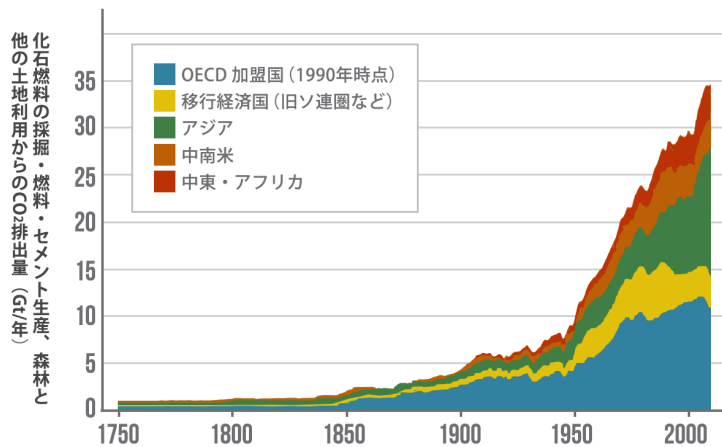
気候変動に具体的な対策を（木曜 1 クラス）

- ① 気候に関する災害や自然災害がおきたときに、対応したり立ち直ったりできるような力を、すべての国でそなえる。

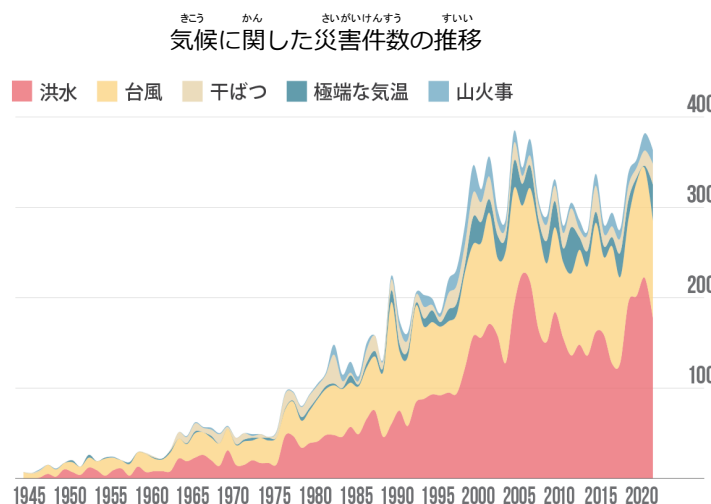
- ② 気候変動への対応を、それぞれの国が、国の政策や、戦略、計画にいれる。

- ③ 気候変動がおきるスピードをゆるめたり、気候変動の影響にそなえたり、影響をへらしたり、早くから警戒するための、教育や啓発をより良いものにし、人や組織の能力を高める。

〈参考〉



図のように二酸化炭素の世界の排出量は、急激に増加しています。これから100年間に二酸化炭素や温室ガスの増加の影響でどれくらい平均気温が上昇するかを予測したところ、効果の高い対策が実行され最も気温があがる割合が低い場合でも2100年には2度気温があがるといわれています。一方で、対策をとらず最も早いスピードで気温があがる場合では4度ほどの上昇が予想されています。



1945年～2020年の75年間、気候に関連した災害が発生する回数はふえ続けます。1980年から1989年に発生した気候に関する災害の件数は1260件でしたが、2013年から2022年に発生した件数は3184件で2.5倍に増加しています。こうした災害の多くは連続して発生していて、復興のための十分な時間もなく、食料不足や経済状況への悪化につながり人道危機となっています。